

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	キャリアデザイン I	担当教員 (実務の経験)	大森 弘美 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科1年	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	演習・講義	単位数・時間	1単位・16時間
授業の概要	自己理解・仕事理解を通して自分自身のキャリア(仕事を通してどう生きていくか)を考える。 ワークショップ形式。		
到達目標	1. 自己を理解する。仕事を理解する。 2. グループワークで自分の立ち位置を理解する。		
使用教材等	未来ノート ペン字練習帳		
授業計画			
第1週	導入		
第2週	私の国		
第3週	過去を振り返ろう		
第4週	未来カード、未来に向けて		
第5週	チーム学習のヒント		
第6週	メルヘン大会		
第7週	応募書類作成		
第8週	4つの窓		
第9週	グループディスカッション		
第10週	仕事の根っこ		
第11週	自己PR		
第12週	なぜ働くの 適職診断		
第13週	私の大切なもの 面接指導		
第14週	自己理解 面接指導		
第15週	まとめ		
第16週			
成績評価 の方法	・授業参加状況(35%) ・期末テスト(30%) ・提出物(35%) 100点満点で評価		
学生への メッセージ	自分に合わせた目標を持って授業に臨んでください。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	ビジネス文書	担当教員 (実務の経験)	國分 進 大河原 眞理子 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	4単位・64時間
授業の概要	現代文の文章読解力、漢字・ことわざ等の国語語彙力、古典の知識、文学史の基礎力を身につける。英語の単語・イディオム、基礎文法・構文をマスターし、更に長文の読解ができるようにする。あわせて、作文練習により文章作成力を身につける。		
到達目標	公務員試験(文章理解・国語・文学分野)の対策を目的として学習する。公務員試験の出題分野を網羅するため、基礎学力から発展して応用力・実践力を身につける。また、文章を書く能力も身につける。		
使用教材等	公務員合格セミナー初級本科 一般知識(演習・ワークブック)、人文(演習・確認ワーク)、英語ワークブック[実務教育出版] 新国語便覧[第一学習社] 言葉と漢字のレッスン[日栄社]		
授業計画			
第1週	イントロダクション:公務員試験の文章理解分野と国語分野、そのための対策と授業の進め方		
第2週	・文章読解の方法(講義と問題演習) ・英単語の習得(小テスト①) ・作文練習		
第3週	・文章の構造のまとめと短文作成による接続詞の理解(講義と問題演習) ・英単語の習得(小テスト②)		
第4週	・出題形式別文章の読解(講義と問題演習) ・言葉と漢字小テスト① ・英単語の習得(小テスト③) ・作文練習		
第5週	・現代文過去問演習(問題演習) ・言葉と漢字小テスト② ・英単語の習得(小テスト④)		
第6週	・古典の基礎(講義と問題演習) ・言葉と漢字小テスト③ ・英単語の習得(小テスト⑤) ・作文練習		
第7週	・古文問題の実践(講義と問題演習) ・言葉と漢字小テスト④ ・英単語の習得(小テスト⑥) ・作文練習		
第8週	・古文問題の実践(講義と問題演習) ・言葉と漢字小テスト⑤ ・英単語の習得(小テスト⑦) ・作文練習		
第9週	・中学英語の復習(講義と問題演習) ・言葉と漢字小テスト⑥ ・英単語の習得(小テスト⑧)		
第10週	・英語のことわざ・会話表現(講義と問題演習) ・言葉と漢字小テスト⑦ ・英単語の習得(小テスト⑨) ・作文練習		
第11週	・英語長文読解・過去問演習 ・言葉と漢字小テスト⑧⑨ ・英単語の習得(小テスト⑩)		
第12週	・文学史(古典上代・中世)(講義と演習) ・言葉と漢字小テスト⑩⑪ ・英語文法(小テスト①) ・小論文演習		
第13週	・文学史(古典近世)(講義と演習) 人文演習ブック(文学史) ・英語文法(小テスト②) ・予想論作文問題演習		
第14週	・文学史(近現代)(講義と演習)・人文演習ブック(国語) ・英語文法(小テスト③) ・予想作文問題演習		
第15週	・期末試験 ・文学史(西洋)(講義と演習) ・予想作文問題演習		
第16週	・確認ワークによる必須項目のチェックとまとめ ・過去問出題傾向の確認と演習		
成績評価の方法	学期末試験(60%) 授業中の小テスト・課題等(30%) 作文(10%)		
学生へのメッセージ	国語辞典、古語辞典、漢和辞典、英和辞典、英語文法の参考書など、高校で使用していたものでよいので準備してください。		
実務経験			

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	資料解釈	担当教員 (実務の経験)	三島 和弘 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	1単位・16時間
授業の概要	公務員試験(教養試験:一般知能)資料解釈の知識を講義、基本演習等を通して確認し、理解していく。特に数表・グラフの読み取りに関し理解する。演習の時間もつける。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本となる考え方を習得し、応用できる能力にまで発展させる</li> <li>・公務員試験に向けて解答能力を高める</li> </ul>		
使用教材等	公務員合格セミナー一般知能テキスト (実務教育出版) 公務員合格セミナー一般知能演習ブック (実務教育出版)		
授業計画			
第1週	資料解釈の内容の理解をする。また解法の基本を理解する。		
第2週	実数の数表(1)	……	解法の説明・例題の確認
第3週	実数の数表(2)	……	問題演習
第4週	割合の数表(1)	……	解法の説明・例題の確認
第5週	割合の数表(2)	……	問題演習
第6週	実数のグラフ(1)	……	解法の説明・例題の確認
第7週	実数のグラフ(2)	……	問題演習
第8週	割合のグラフ(1)	……	解法の説明・例題の確認
第9週	割合のグラフ(2)	……	問題演習
第10週	実数・割合の数表(1)	……	解法の説明・例題の確認
第11週	実数・割合の数表(2)	……	問題演習
第12週	実数・割合のグラフ(1)	……	解法の説明・例題の確認
第13週	実数・割合のグラフ(2)	……	問題演習
第14週	特殊な数表	……	解法の説明・例題の確認 問題演習
第15週	特殊なグラフ	……	解法の説明・例題の確認 問題演習
第16週	資料解釈総合演習		
成績評価の方法	期末テスト 70%、各章終了後の小テスト 20%、授業参加度 10%		
学生へのメッセージ	資料解釈得点のコツを確認し、会得します。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	時事	担当教員 (実務の経験)	小林 英二 鈴木 孝一 大河原 真理子 有・ <del>無</del>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	日本国内および国際政治・経済、主要な政策、社会問題などを網羅して学習する。あわせて、問題演習で実践力を養成する。更に、問題意識をもって取り組むために、新聞記事の要約・発表や地域の問題などについても学習を深める。		
到達目標	公務員試験の時事問題への対策を目的として学習する。公務員試験の出題分野を網羅するため、基礎学力から発展して、応用力・実践力を身につける。また、問題意識をもって社会問題に取り組む態度を養う。		
使用教材等	令和2年度「公務員試験速攻の時事」[実務教育出版]		
授業計画			
第1週	授業に関するオリエンテーション この科目の目的と進め方		
第2週	第1章 日本政治(講義と問題トレーニング) 新聞記事から関連する問題についての発表		
第3週	第2章 国際政治(講義と問題トレーニング) 新聞記事から関連する問題についての発表		
第4週	第3章 日本経済(講義と問題トレーニング) 新聞記事から関連する問題についての発表		
第5週	第4章 経済政策(講義と問題トレーニング) 地域の経済について調べてみよう(レポート・発表)		
第6週	第5章 財政(講義と問題トレーニング) 国の経済について調べてみよう(レポート・発表)		
第7週	第6章 世界経済(講義と問題トレーニング) 新聞記事から関連する問題についての発表		
第8週	第7章 厚生(講義と問題トレーニング) 新聞記事から関連する問題についての発表		
第9週	第8章 労働(講義と問題トレーニング) 新聞記事から関連する問題についての発表		
第10週	第9章 文部科学(講義と問題トレーニング) 新聞記事から関連する問題についての発表		
第11週	第10章 環境(講義と問題トレーニング) 地域の環境・災害について調べてみよう(レポート・発表)		
第12週	第11章 司法警察(講義と問題トレーニング) 地域の警察について調べてみよう(レポート・発表)		
第13週	第12章 社会問題(講義と問題トレーニング) 地域の問題について調べてみよう(レポート・発表)		
第14週	必須項目のチェックとまとめ 受験する地域の特性をまとめる(レポート・発表)		
第15週	・期末試験 ・必須項目のチェックとまとめ 過去問出題傾向の確認		
第16週	必須項目のチェックとまとめ 過去問出題傾向の確認		
成績評価の方法	学期末試験(50%) 授業中の課題・レポート・発表等(45%) 授業参加度(5%)		
学生へのメッセージ	毎日、新聞を読んだりニュースを見たりする習慣を付けましょう。		
実務経験			

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	自然科学A	担当教員 (実務の経験)	関根 義男 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	物理の基礎的な知識を講義、基本演習等を通して確認し、理解していく。また出題率の高い分野の問題演習を通して、解答能力を高める		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本となる考え方を習得し、応用できる能力にまで発展させる</li> <li>・公務員試験に向けて解答能力を高める</li> </ul>		
使用教材等	公務員合格セミナー自然科学テキスト (実務教育出版) 公務員合格セミナー自然科学演習ブック (実務教育出版)		
授業計画			
第1週	いろいろな力 ……特にばね、浮力について理解する		
第2週	力のつりあい …… 特に、3力のつり合い、力のモーメントについて理解する		
第3週	運動の法則 …… 運動方程式の使い方について理解し、身につける		
第4週	等加速度運動 …… 公式を理解し、使い方を身につける		
第5週	落体の運動 …… 等加速度運動の代表的な応用例として学ぶ		
第6週	仕事のエネルギー、エネルギーの移り変わりを理解する		
第7週	力学的エネルギー保存の法則について理解する		
第8週	運動量と運動量保存の法則について理解する		
第9週	直流電流(1) …… オームの法則の使い方を身につける		
第10週	直流電流(2) …… 電力について理解する		
第11週	電流と磁界の関係について理解する		
第12週	波の性質 …… 特に、音と光の性質について理解する		
第13週	日常生活の中の様々な波動現象について理解する		
第14週	熱 …… 特に、熱量保存則について理解する		
第15週	原子 …… 原子の構造、放射線について理解する		
第16週	過去問等で総合演習		
成績評価の方法	期末テスト 70%、各章終了後の小テスト 20%、授業参加度 10%		
学生へのメッセージ	高校時代選択しなかった科目も、出やすい所を中心に学習します。しっかり得点源としましょう。		
実務経験			

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	自然科学B	担当教員 (実務の経験)	三島 和弘 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	公務員試験(教養試験:一般知識)自然科学(化学・地学)の知識を講義、基本演習等を通して確認し、理解していく。特に、科学常識、時事関連についても理解する。演習の時間ももうける。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本となる考え方を習得し、応用できる能力にまで発展させる</li> <li>・公務員試験に向けて解答能力を高める</li> </ul>		
使用教材等	公務員合格セミナー自然科学テキスト (実務教育出版) 公務員合格セミナー自然科学確認ワーク・演習ブック (実務教育出版)		
授業計画			
第1週	化学(物質の構成)① …… 特に原子の構造を中心に理解する。問題演習		
第2週	化学(物質の構成)② …… 確認ワーク・演習ブックでの問題演習		
第3週	化学(元素の周期表)① …… 各元素の特性と周期律に関して理解する。		
第4週	化学(元素の周期表)② …… 確認ワーク・演習ブックでの問題演習		
第5週	化学(化学結合)① …… 共有結合・イオン結合・金属結合・分子間力結合の理解		
第6週	化学(化学結合)② …… 確認ワーク・演習ブックでの問題演習		
第7週	化学(酸・塩基)① …… 酸・塩基の理解		
第8週	化学(酸・塩基)② …… 確認ワーク・演習ブックでの問題演習		
第9週	化学(酸化・還元)① …… 酸化・還元の理解 イオン化傾向の理解		
第10週	化学(酸化・還元)② …… 確認ワーク・演習ブックでの問題演習		
第11週	化学(気体の生成と性質) …… 気体の性質、生成方法、置換法等の理解 問題演習		
第12週	化学(人間生活と化学) …… 生活で使われている、化学関連物質を理解 問題演習		
第13週	地学(地球の動き) …… 日周運動・年周運動の理解、自転・公転を理解 問題演習		
第14週	地学(太陽系・恒星) …… 地球型惑星・木星型惑星の理解、宇宙の構成を理解 問題演習		
第15週	地学(地球の構造) …… 大気・内部構造の理解、地震について理解 問題演習		
第16週	過去問等で総合演習		
成績評価の方法	期末テスト 70%、各章終了後の小テスト 20%、授業参加度 10%		
学生へのメッセージ	自然科学分野(化学・地学)を中心に、基礎から実践問題までを学習します。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	数的推理	担当教員	小林 英二
		(実務の経験)	有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	5単位・80時間
授業の概要	公務員として働く上で、柔軟な発想は必要である。数学の基礎知識をもとにした柔軟な思考、問題解決法を身に付けられるように進めていくとともに、公務員試験の数的推理分野で高得点が取れるようにする。		
到達目標	数的推理の分野、全範囲において数学の基礎知識をもとにした柔軟な思考、問題解決法を身に付ける。		
使用教材等	公務員合格セミナー初級本科一般知能テキスト(実務教育出版) 公務員合格セミナー初級本科一般知能演習ブック(実務教育出版)		
授業計画			
第1週	Lesson22『三角形と面積』の図形問題およびLesson1『数の計算』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第2週	Lesson22『三角形と面積』の図形問題およびLesson2『約数・倍数』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第3週	Lesson23『円と面積』の図形問題およびLesson3『商と余り』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第4週	Lesson23『円と面積』の図形問題およびLesson4『記数法』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第5週	Lesson24『立体図形』の図形問題およびLesson5『数量関係』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第6週	Lesson24『立体図形』の図形問題およびLesson6『覆面算、魔方陣』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第7週	Lesson25『場合の数』およびLesson7『数列』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第8週	Lesson25『場合の数』およびLesson8『方程式、関数』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第9週	Lesson26『順列』およびLesson9『方程式、関数』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第10週	Lesson26『順列』およびLesson10『方程式の整数解』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第11週	Lesson27『組合せ』およびLesson11『不等式』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第12週	Lesson27『組合せ』およびLesson12『時計算、年齢算、平均』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第13週	Lesson28『確率』およびLesson13『集合』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第14週	Lesson28『確率』およびLesson14『速さ・距離・時間』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第15週	Lesson20『仕事算』、Lesson21『給排水算、ニュートン算』およびLesson15『旅人算、流水算』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
第16週	Lesson16『通過算』、Lesson17『比、割合』およびLesson18『濃度』、Lesson19『百分率、増加率』の文章問題を行い、解法を理解する。また、演習ブックで類似問題を行い、解法を復習する。		
成績評価の方法	期末考査(50%) + 平常点(小テスト等を含む40%) + 授業参加度(10%)の100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	授業で解法を理解し、繰り返し復習し、知識を定着できるようにして下さい。		
実務経験			

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	世界史	担当教員	櫻田 和久 中田 正則
		(実務の経験)	有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	3単位・48時間
授業の概要	グローバル化が進み、公務員として必要な世界史の基礎的知識を習得する。欧米諸国と中国の歴史を中心に流れを捉え、公務員試験に対応できる学力を獲得する。テキスト・資料集で内容を復習したうえで、演習ブックの解答・解説を行う。		
到達目標	公務員試験における世界史分野で確実に得点させ、一次試験合格を実現させる。公務員試験の過去問を中心に、公務員試験の世界史の問題に対応できるようにする。		
使用教材等	公務員合格セミナー初級本科人文科学 テキスト・確認ワーク・演習ブック(実務教育出版)グローバルワイド(第一学習社)		
授業計画			
第1週	ギリシアとローマとキリスト教 古代ギリシアと古代ローマがその後のヨーロッパ文明の基礎となることを理解する。キリスト教の成立と発展過程を理解する。		
第2週	ルネサンス・宗教改革・大航海時代 ルネサンスの人文主義思想について理解する。宗教改革の理念について理解する。大航海時代でヨーロッパの世界進出を理解する。		
第3週	絶対主義とイギリス革命 ヨーロッパの国家形成と絶対主義の時代のヨーロッパの国家関係について理解する。イギリス革命の歴史的意義について理解する。		
第4週	市民革命と産業革命 アメリカの独立・フランス革命の歴史的意義について理解する。産業革命により、機械を使った大量生産を可能にしたことを理解しその影響を理解する。		
第5週	ウィーン体制とイタリア・ドイツの統一 ウィーン体制の成立と崩壊を理解する。国民国家の成立とイタリア・ドイツの国家統一がどのような国際関係の中で成立したかを理解する。		
第6週	ロシアの改革とアメリカの発展 ロシアのツァーリズムの矛盾と改革について理解する。アメリカの西部開拓と南北戦争について理解する。		
第7週	帝国主義と第一次世界大戦 帝国主義の成立と欧米諸国の植民地争奪戦の結果としての第一次世界大戦について理解する。		
第8週	第一次世界大戦後の欧米諸国と 欧米諸国の国内事情とアメリカの覇権の成立を理解する。世界恐慌の影響とヴェルサイユ体制の矛盾によるファシズムの成立を理解する。		
第9週	世界恐慌とファシズムと第二次世界大戦 世界恐慌の影響とヴェルサイユ体制の矛盾によるファシズムの成立を理解する。第二次世界大戦の経過と戦後の世界構想を理解する。		
第10週	冷戦と第三世界の成立 冷戦の意味と、戦後の世界が米ソを中心にとどの様な動きをするか理解する。アジア・アフリカ諸国の独立と第三世界の成立を理解する。		
第11週	冷戦の終結と現代世界の多様化 冷戦が終結する過程を理解する。アメリカの一極支配とその終焉について理解する。		
第12週	中国史(殷・周・春秋戦国・秦・漢) 中国における王朝の成立と封建制・中央集権国家の成立過程について理解する。		
第13週	中国史(魏晋南北朝時代・隋・唐) 中国における混乱と律令制度に基づく国家の形成を理解する。		
第14週	中国史(宋・元・明・清) 唐末から中国社会の支配層が変わり新たな大土地所有制度が成立し、征服王朝の誕生を理解する。		
第15週	中国史(辛亥革命と日本の侵略・中華人民共和国の成立) 清朝が滅び、新たな国家づくりが始まり、日本の侵略とその後の中華人民共和国の成立を理解する。		
第16週	中国史(文化大革命と経済発展) 共産主義体制の下での国家建設と、文化大革命による混乱の後に市場経済の導入による発展を理解する。		
成績評価の方法	期末テスト80%・授業参加度20%により100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	公務員試験合格のため、世界史の基礎的知識を習得しましょう。問題のプリントを最低3回繰り返しましょう。		
実務経験			



## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	政治経済	担当教員 (実務の経験)	星 勉 鈴木 孝一 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	4単位・64時間
授業の概要	公務員試験の教養試験において、他の社会系科目の中では比較的問題数が多い。また、時事問題を絡めた出題も増えてきている。そこで、適宜時事問題に触れながら、政治や経済の仕組みについて理解し、自らの考えを持ち表現できるようにする。		
到達目標	1 日本国憲法の内容や政治の仕組みについて説明することができる。 2 経済の仕組みや景気対策について説明することができる。 3 自分の考えを発表することができる。		
使用教材等	テキスト:公務員合格セミナー初級本科社会科学 テキスト・確認ワーク・演習ブック(実務教育出版)、日本国憲法(小学館)		
授業計画			
第1週	ガイダンス:学習の進め方を理解する。 日本国憲法前文の内容を理解する。		
第2週	基本的人権の尊重について理解する。		
第3週	国会の仕事や衆議院の優越について理解する。		
第4週	内閣と裁判所の果たす役割について理解する。		
第5週	地方自治の仕組みや選挙制度について理解する。		
第6週	国際社会の動きと国際連合の果たす役割について理解する。		
第7週	政治分野の小テストを実施する。		
第8週	資本主義経済の仕組みについて理解する。		
第9週	株式会社の仕組みや中小企業の特徴について理解する。		
第10週	金融政策・財政政策の内容について理解する。		
第11週	円高・円安が及ぼす影響について理解する。		
第12週	EUやASEANをはじめとする地域的経済統合の動きについて理解する。		
第13週	経済分野の小テストを行う。		
第14週	過去問を中心とした演習を行う。		
第15週	期末試験		
第16週	過去問を中心とした演習を行う。		
成績評価の方法	期末試験70%、小テスト20%、授業参加度10%として100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	①日々起きている政治や経済に関するニュースに関心を持ちましょう。 ②問題を解いた後には、間違いなおしをする習慣をつけましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	体育	担当教員 (実務の経験)	松井定子 遠藤文夫 小林英二 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科1年	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	実技	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	基礎的な運動能力の向上および警察官や消防官の体力試験に向けての専門的なトレーニングを行う。		
到達目標	現状の個々の体力を把握し、計画的に体力の維持・増強できる術を身につける。		
使用教材等	マット、ゴムチューブ等を使用する。		
授業計画			
第1週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第2週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第3週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第4週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第5週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第6週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第7週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第8週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第9週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第10週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第11週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第12週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第13週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第14週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第15週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
第16週	ウォーミングアップ、ハイパストレーニング、体幹トレーニング、柔軟トレーニング等を行う。有酸素運動と無酸素運動を交互に取り入れる。		
成績評価の方法	授業の参加度(100%)の100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	怪我に気をつけて体力向上を図りましょう。		
実務経験			

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	地理	担当教員 (実務の経験)	中田 正則 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	公務員採用試験一般教養科目「地理」について学習する。		
到達目標	世界の農牧業 鉱工業 気候 地形について理解する。		
使用教材等	公務員合格セミナー(実教出版) keyワーク(帝国)		
授業計画			
第1週	ガイダンス 授業の進め方について理解する。白地図を使用して世界の大きな姿をつかむ。		
第2週	世界の農業の立地条件について理解する。移動式焼畑農業 原始的定着農業 遊牧		
第3週	世界の農業の立地条件について理解する。オアシス農業 アジア式畑作農業 アジア式稲作農業		
第4週	中国 インド アフリカの農業について理解する。		
第5週	世界の農業の立地条件について理解する。酪農 混合農業 地中海式農業 園芸農業 ヨーロッパの農業		
第6週	世界の農業の立地条件について理解する。企業的農牧業		
第7週	アメリカの農業 オーストラリアの農業について理解する。		
第8週	世界の農業の立地条件について理解する。集团的農牧業		
第9週	エネルギー資源の分布について理解する。石炭 原油 天然ガス		
第10週	鉱産資源の分布について理解する。鉄鉱石 銅鉱石 ボーキサイト		
第11週	ヨーロッパの工業 ロシアの工業について理解する。		
第12週	アジアの工業について理解する。		
第13週	アメリカの工業について理解する。		
第14週	ケッペンの気候区分について理解する。		
第15週	ハイサーグラフの読み取り方について理解する。		
第16週	世界の地形について理解する。		
成績評価の方法	期末試験50% 授業参加度50%として100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	地図帳を準備してもらえると理解しやすくなります。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	日本史	担当教員	鈴木 孝一
		(実務の経験)	有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	人文科学演習ブックを使用して公務員試験過去問を解く。問題ごとに解説を加え理解を深めてゆく。		
到達目標	初級公務員試験に有用な日本史知識を習得する。		
使用教材等	公務員合格セミナー人文科学演習ブック(実務教育出版) 日本史図表(第一学習社)		
授業計画			
第1週	古代(飛鳥・奈良・平安時代)の過去問演習①		
第2週	古代(飛鳥・奈良・平安時代)の過去問演習②		
第3週	中世(鎌倉・室町時代)の過去問演習①		
第4週	中世(鎌倉・室町時代)の過去問演習②		
第5週	中世・近世(戦国期・織豊時代)の過去問演習		
第6週	近世(江戸時代)の過去問演習①		
第7週	近世(江戸時代)の過去問演習②		
第8週	近代(明治時代)の過去問演習①		
第9週	近代(明治時代)の過去問演習②		
第10週	近代(大正・昭和前期)の過去問演習①		
第11週	近代(大正・昭和前期)の過去問演習②		
第12週	現代(第二次世界大戦後の諸改革)の過去問演習①		
第13週	現代(第二次世界大戦後の諸改革)の過去問演習②		
第14週	現代(第二次世界大戦後の諸改革)の過去問演習③		
第15週	テーマ史の過去問演習		
第16週	最新過去問演習		
成績評価の方法	期末考査素点80%、参加度20%で合計100点の評価をする		
学生へのメッセージ	日本史図表を参考にして事前に演習ブック問題の予習をしてください。		
実務経験			

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

科目名	判断推理	担当教員 (実務の経験)	熊田 直哉 柳沼 知子 有・ <b>無</b>
対象学科・学年 コース	行政事務学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	5単位・80時間
授業の概要	テーマごとの重要ポイントと解法を学び、判断推理を解くための基礎力を養成する。問題を解き、解法について討論をしお互いに教え合うことで、論理的思考力・条件処理能力を養成する。		
到達目標	公務員試験における判断推理の筆記試験の解答力を高めることを目的とする。判断推理の基礎となるポイントを理解し、問題を繰り返し解くことで問題のパターンに慣れ、より早く正確に解けるようになる。		
使用教材等	公務員合格セミナー初級本科一般知能テキスト(実務教育出版) 公務員合格セミナー初級本科一般知能演習ブック(実務教育出版) 配布プリント		
授業計画			
第1週	『論理』および『集合』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第2週	『暗号』および『対応関係』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第3週	『順序関係』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第4週	『狂った時計』および『試合勝敗』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第5週	『方位』および『道順位相』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第6週	『うそつき問題』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第7週	『手順数量』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第8週	『平面図形』および『軌跡』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第9週	『立方体』および『展開図』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第10週	『立方体の切断』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第11週	『投影図』、『折り紙』および『回転体』の例題を解き、解法を理解する。例題の類似問題を解き、解法を復習する。		
第12週	総復習および演習ブックを使用した実践演習を行う。		
第13週	総復習および演習ブックを使用した実践演習を行う。		
第14週	総復習および演習ブックを使用した実践演習を行う。		
第15週	総復習および演習ブックを使用した実践演習を行う。		
第16週	総復習および演習ブックを使用した実践演習を行う。		
成績評価の方法	期末考査(50%) + 小テスト(40%) + 授業参加度(10%)の100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	理解できるまで何度も繰り返し問題を解くことが大切です。授業で学習した内容は忘れないうちに復習しましょう。		
実務経験			